



Rotary 国際ロータリー
第2620地区
御殿場
ロータリークラブ

<https://www.gotemba-rc.gr.jp/>

週報



御殿場
ロータリークラブ
モバイルサイト

第2776回 例会プログラム

- 例会場 / YMCA東山荘講堂
- 開会点鐘 / 12:30 ● 国歌斉唱
- ロータリーソング / 四つのテスト
- 内容 / 御殿場市長 卓話

会員慶事

- 会員誕生日 2月11日 勝又英和君
- 夫人誕生日 2月6日 渡辺修司君 ご夫人 弘美様
2月10日 勝又誠君 ご夫人 通子様
- 皆出席 1月30日 橋本喜市君 (ロータリー歴28年)
2月2日 根上眞一君 (ロータリー歴49年)

会長挨拶

澁谷 一



本日は久しぶりに外部から卓話者をお迎えしています。御殿場市スポーツ協会副会長の滝口兼光様です。御殿場市を含む北駿地域は、多くの各種スポーツで優秀なアスリートを輩出し、また、練習に適した環境から、全国から来るアスリートにトレーニング場所や宿泊設備の提供もされています。本日の卓話を楽しみに聴きたいと思います。

今月は職業月間になります。その代表として、ロータリアンの行動規範があり、ロータリアンとしてこのように行動すると記してあります。

1. 個人として、また事業において、高潔さと高い倫理基準をもって行動する。
2. 取引のすべてにおいて公正に努め、相手とその職業に対して尊重の念をもって接する。
3. 自分の職業スキルを生かして、若い人びとを導き、特別なニーズを抱える人びとを助け、地域社会や世界中の人びとの生活の質を高める。
4. ロータリーやほかのロータリアンの評判を落とすような言動は避ける。

5. ロータリーの会合、行事、および活動においてハラスメントのない環境を維持することを支援し、ハラスメントの疑いがあれば報告し、ハラスメントを報告した人への報復が起こらないよう確認する。

この1～5までに沿ったロータリアンの職業倫理が基本になっています。

この中で、最近、よく耳にするハラスメントに関しての定義は、「個人またはグループをあらゆる特性（年齢、民族、人種、肌の色、能力、宗教、社会的地位、文化、性別、性的志向、性自認）に基づいて、言葉であれ身体的であれ、中傷、侮辱、または攻撃する言動を指している」（ロータリー章典26、120節）です。

これには、意図についての言及がありません。ハラスメントは、意図せずに行う可能性が誰にでもあります。冗談でも言い訳になりません。誰かに言動を注意されたら、自分の言動を振り返り、学び、変えていく意識と努力をしていきましょう。

今期の職業奉仕委員会担当例会は、2月27日に富士スピードウェイで行います。先日、橋本委員長、幹事と打ち合わせの為に訪問しました。2025年はほぼスケジュールが埋まっていて盛況のようです。この地域の将来像を是非皆さんで聞きに行きましょう。



会長挨拶は
こちら

1/30の出席報告

| 会員数 | 出席計算に用いた会員数 | 出席者数 | 暫定出席率 | 前々回の確定出席率 |
|-----|-------------|------|--------|-----------|
| 55名 | 53名 | 48名 | 90.57% | 100% |

欠席者(5名)

神谷高義君 勝又博文君 勝間田太住君
長島和彦君 高橋隆造君

※やむを得ず欠席される方は、午前9時50分までにご連絡下さい。

1/9のメーキャップ

| | | | | | | | | |
|--------|---------|-------|--------|---------|-------|-------|---------|-------|
| 11月2日 | オープンハウス | 鈴木榮一君 | 12月26日 | テーブル会 | 豊山 篤君 | 1月14日 | 北海道Eクラブ | 嶋田康一君 |
| 11月2日 | オープンハウス | 森田義彦君 | 1月8日 | 北海道Eクラブ | 根上眞一君 | 1月21日 | 北海道Eクラブ | 池上 司君 |
| 11月10日 | 地区大会 | 田代明人君 | 1月9日 | 北海道Eクラブ | 山内 剛君 | 1月23日 | 北海道Eクラブ | 高橋隆造君 |
| | | | 1月11日 | 北海道Eクラブ | 池谷正徳君 | 1月28日 | 北海道Eクラブ | 菅沼良将君 |



THE MAGIC OF ROTARY
ロータリーのマジック

2月13日は
休会です

次回
2月16日の
例会

★プラサ ヴェルデ
★13:00
★Intercity Meeting



自分のためと思えば何でも楽しくできる

御殿場市スポーツ協会
副会長

滝口兼光様

私には自慢できることが3つあります。

1つ目は、38年間の教員生活を無事終えることができたこと。退職の3月31日の深夜に学校に行き、「御殿場市に恩返しをする」「頼まれたことは何でも引き受ける」ことを決意しました。

2つ目は、28歳から始めたバレーボールを43年間続けていること。

3つ目はしずおか市町対抗駅伝の御殿場市チーム監督として3回優勝できたことです。

本日はしずおか市町対抗駅伝のことを皆さんにお話しさせていただき、御殿場市の駅伝チームをより一層応援していただきたいと思っております。

私が御殿場市チームの監督として「何を考えてやってきたのか？」をまとめると以下の通りです。

- ①選手を集めるのではなく、**選手を育てていく**という発想
- ②個人競技ではあるが、**チームとして頑張る**気持ちを持たせる
- ③きちんとした**挨拶のできる子ども**に育てる
- ④**練習は自分のため**であり、成長できることを確信すれば練習が楽しくなる
- ⑤大会に向けての**目的の共通理解**と目標の設定
- ⑥練習に参加している選手はみんな仲間であり、**高め合う存在**である
- ⑦準備運動・アップを丁寧にいき、小学生は**練習の最後にゲーム**を入れる
- ⑧陸上競技協会（会場）・スポーツ協会（運営）・御殿場市（補助金）の**連携**

私はこれらを実行し、私なりにチームを支えてきましたが、御殿場市チームの強さの秘訣は何よりヘッドコーチである秋岡先生の力です。先生は、練習計画、選手の育成、選手を伸ばす力、目的意識の持たせ方、当日までの意識の高め方、当日の指示等々、とにかくやることなすことが全体的確です。



そんな秋岡先生のお力を借りながら、我々が駅伝で結果を残すために行ってきたことを以下にまとめてみました。

- ▶選手集め⇒1月から自主練習、8月から各学校からの推薦者
- ▶目標の設定と共通理解⇒何のために集まって練習するのか
- ▶練習計画の作成⇒追い込まない練習（怪我をさせない配慮）
- ▶支援体制づくり(スタッフ)⇒コーチの育成と保護者の協力
- ▶早めの練習⇒1月からの体づくり
- ▶褒める時のタイミング⇒ここの的確さが大事
- ▶やらされる意識から、自ら楽しんで走る意識への転換

他にも細かいことを挙げたらキリがありませんが、こうした一つ一つの取組が昨今の御殿場チームの強さに繋がっていると確信しています。

最後になりますが、どんなことでも大変と思わず、「自分のためになる」という気持ちがあれば、何でも楽しく前向きに取り組めると私は考えています。だからこそ、私の人生訓は「与えて思わず 受けて忘れず」です。人に対して何かをしてあげてもそのお礼やお返しを期待してはいけません。しかし、人から受けた恩は一生忘れない。この言葉にはそんな意味があります。これだけやってあげたからきっと良くなるという期待をせず、自分のために頑張ったと考えることで、良くならないこともあるということ素直に受け入れることもできて、人生はより豊かに、穏やかになっていくのではないのでしょうか。子ども達にも駅伝という競技を通して、私の想いが少しでも届いてくれていることを願うばかりです。



司会 長田 崇君 出席報告 込山 正一郎君 ソングリーダー 池上 司君 会員誕生日 鎌野 篤志君 大胡田 明寿君

ロータリーの友 2月号 **おすすめトピックス**

- P 8 平和構築と紛争予防月間 差別、闘い、そして未来への夢
- P 43 子どもの未来のため協働 清水RC
- P 46 地区大会略報Ⅲ 第2620地区
- P 77(4) 言葉を守る テレビディレクターの考える戦争